

令和5年度双葉会本部事業報告・決算報告(抜粋)

総括

令和5年度は5月に新型コロナウイルス感染症の取扱いが5類に移行となり、経済社会活動におけるコロナ禍はほぼ収束したとの報道がされる中、寿楽荘では年3回のクラスター、琴清苑では1回のクラスターと年間累計感染者数は昨年を上回り、寿楽荘利用者77名、職員59名、琴清苑利用者28名、職員13名となり、クラスターの対応に迫られる結果となりました。職員は週に1度のPCR検査・抗原検査、介護施設における厳しい感染防止対策をとった中でのクラスター発生であり、今後も一般社会とは一線を画した感染防止対策を継続し利用者皆様の安全を確保しなければなりません。

老人施設においては、入所稼働率は寿楽荘で78.9%、琴清苑で89.1%、短期入所事業では寿楽荘102.4%、琴清苑82.2%という結果であり、長期化する感染症対策・クラスターの影響により寿楽荘が大幅に落ち込み、琴清苑も減少傾向にあります。これからも感染症対策を継続しながら稼働率を上げるよう努めていきます。他にも高齢者虐待防止、身体拘束ゼロ、ハラスメント対策、職員の就労環境問題、看護・介護職の雇用対策等に取り組んでいるところです。

保育園については、町が力を入れている子育て支援施策の一つである保育料無料化の効果により、一時的に乳児の在園数は確保されるが、年長児の退園(引っ越し)が多く、年度途中で大きく運営費が減額になる為、人件費の確保と定住に向けた子育てのサポートの充実を図りました。

診療所については、施設利用者の重度化・町内の高齢化等により医師の業務が激増している中、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の周知徹底に努めました。今後、医師の健康状況も考慮し、非常勤医師の増員等も視野に入れ体制強化を図って行きます。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和6年3月31日
資産・負債の内訳		双葉会本部
I 資産の部		***
1. 流動資産		***
	流動資産合計	52,090,406
2. 固定資産		***
	固定資産合計	137,045,209
	資産合計	189,135,615
II 負債の部		***
1. 流動負債		***
	流動負債合計	3,450
2. 固定負債		***
	固定負債合計	0
	負債合計	3,450
	差引純資産	189,132,165

拠点区分貸借対照表			令和6年3月31日
			双葉会本部会計
		借方	貸方
流動資産	52,090,406		
固定資産	137,045,209		
資産の部合計	189,135,615		
流動負債			3,450
固定負債			0
負債の部合計			3,450
基本金			0
国庫補助金等特別積立金			0
その他の積立金等			60,500,000
次期繰越活動収支差額			128,632,165
純財産の部			189,132,165
負債・純財産の部合計			189,135,615

拠点区分資金収支計算書			(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日
勘定科目		双葉会本部会計	
決算 の 状 況	事業活動	事業活動収入計①	5,640,963
		事業活動支出計②	13,186,337
		事業活動資金収支差額③(①-②)	-7,545,374
	施設整備 その他活動	施設整備等収入計④	0
		施設整備等支出計⑤	2,236,361
		施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-2,236,361
	その他活動	その他の活動による収入計⑦	25,000,000
		その他の活動による支出計⑧	14,880,000
		その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	10,120,000
		予備費支出(⑩)	0
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩		338,265	
前期末支払資金残高⑫		51,748,691	
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)		52,086,956	

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。